

【志布志市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

第2次志布志市教育振興基本計画後期基本計画では、基本目標を「夢や希望を実現し、ともに未来を創る心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまちづくり」を基本目標に掲げ、「知・徳・体・食の調和がとれ、主体的に考え粘り強く行動する力を備え、志あふれる未来の社会の創り手となる人間の育成」及び「伝統と文化を尊重し、郷土に誇りを持ち、社会・郷土の一員として、互いに認め、高め合い、生涯を通じて幸せや生きがいを感じながら志を持って意欲的に自己実現を目指す人間の育成」に取り組むことを提唱している。

社会の在り方そのものが現在とは「非連続的」と言えるほど劇的に変わるSociety5.0時代において、夢や希望を実現するために、「答えのない問い」に立ち向かっていける資質・能力を育成していく。そのために、ICT端末を「文房具」としてフル活用しながら、主体的に考え、多様な他者と協働的に議論し、納得解を生み出していく力を育成する。また、児童生徒がICTを日常的に活用することにより、自らの学習を調整しながら学んでいくことができるようにする。さらには様々な情報を吟味し、正しい情報を選び抜ける力やICT端末を「文房具」として活用して主体的に学び、協働していける力、各種インターネット上のサービスを安全に使用できる力などの情報活用能力の育成を目指していく。

2. GIGA第1期の総括

本市においては、「GIGAスクール構想」に基づき、市内全ての小・中学校で1人1台端末を導入し、通信ネットワークの構築やクラウドサービスの積極的な活用等、「GIGAスクール構想」の実現に向けて必要な環境整備を推進してきている。また、本市教育委員会では、教職員の研修の充実を図り、教職員のICT活用指導力の向上を図ってきている。具体的には、実技研修会、ICT支援員による機器操作等に関する支援、各学校における校内研修等を実施したり、管理職や指導力に長けた教職員による指導、各学校のニーズに応じたハード、ソフトの契約業者による支援スタッフの派遣も行ったりしてきている。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末の整備・更新により1人1台端末の利活用を以下の点において推進していく。

(1) 1人1台端末の積極的活用

学校間、地域間の格差を是正し、子供たちの学びの充実を図るために、教職員への切れ目のない研修の機会の確保、ICT支援員や情報教育アドバイザー等の派遣、適切な情報提供など様々な支援を行っていく。

端末の家庭への持ち帰りを日常化し、学習者用デジタル教科書、AI型デジタルドリル、授業支援ソフトウェア等を授業及び家庭学習での活用を促進していく。また、課題解決に向けた論理的な思考力を育成するため、プログラミング教材を活用した新たなプログラミング教育の充実を図っていく。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

児童生徒が「自分で調べる場面」「自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」「児童生徒同士や教職員とのやりとりする場面」において、学習支援ツールやAI型デジタルドリル等の積極的な活用により、理解度や学習進度、興味・関心に応じて最適な学習方法や教材を選択し、学びを深める個別最適な学びを進めていく。また、これらを活用することにより、児童生徒一人一人が自分のペースを大事にしながら共同で作成・編集等を行う活動や、多様な意見を共有しつつ合意形成を図る活動など協働的な学びを進めていく。そうすることで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っていく。

(3) 学びの保障

児童生徒一人一人の学習の定着や興味・関心に応じたAI型ドリルや学習支援ツールの活用や児童生徒、保護者の要望に応じたオンライン学習を進めることができるように整備を進めるなど、あらゆるニーズに対応できるように学べる環境の整備を図っていく。ICTの特性を最大限に活用し、不登校や病気療養等により特別な支援が必要な児童生徒に対するきめ細やかな支援や個々の才能を伸ばすための学びの機会を提供することができるようにする。